

第1学年1組 英語科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日(金)

場所 1年1組教室

1 単元(教材)名 「My Brother in Hawaii」

2 本単元(教材)の学習目標

三人称単数現在形を用いて、自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。

3 本単元(教材)の学習計画(8時間完了)

第1時 扉 / Preview / Part1 (三人称単数現在形) (2時間)

第2時 Part2 (三人称単数現在形の疑問文) (2時間)

第3時 Read and Think (三人称単数現在形の否定文) (2時間)

第4時 Unit Activity (2時間) (2/2) 本時

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 本時の活動内容とめあてを把握する。	・ ストリーム で活動内容とめあてを確認させる。
	目標：人物紹介のスピーチをしよう。	
展開 30分	2 人物紹介の Googleスライド を見ながら、 ペア でスピーチ練習を行う。発話の様子を 学習者用端末 で録画する。 3 生徒同士 で動画を視聴し合い、自分のスピーチの改善点を見つける。 4 4人グループ になり、 班員 に友達紹介のスピーチを行う。その様子を 学習者用端末 で録画する。	・ 評価するポイントを全体で確認してから取り組ませる。 ・ ペアでスピーチを録画させる。 ・ 生徒同士が積極的に意見交換できるように声掛けをする。 ・ 班員のスピーチを見た後に、前向きな感想を共有する。
まとめ 10分	5 数名の生徒が学級全体に向けてスピーチを行う。 6 自身の発表や、級友の発表について振り返り、 スプレッドシート に入力する。	・ 数名の生徒を指名し、学級全体にスピーチをさせる。 ・ 本時の振り返りを入力させる。

5 本時の評価

- ・ 内容や伝え方を工夫して、人物紹介のスピーチに取り組むことができたか。
- ・ 級友と協力して、自分の発話を積極的に自己調整しようとすることができたか。

第1学年2組 理科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日(金)

場所 1年2組教室

1 単元(教材)名 「身のまわりの物質」(1章)

2 本単元(教材)の学習目標

- ・物質の体積と質量の関係に着目し、密度の違いからいろいろな物質を区別することができる。
- ・密度が物質を区別する手掛かりになることに関心を持ち、いろいろな物質について調べようとしている。

3 本単元(教材)の学習計画(8時間完了)

第1時 物体と物質(1時間)

第2時 似ている物質の見分け方(4時間)

第3時 金属の性質(1時間)

第4時 質量・体積と物質の見分け方(2時間)(2/2)(本時)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 10分	1 密度の計算練習をする。 2 本時の活動内容とめあてを知る。	・Googleフォームを利用した選択問題を予め作成しておいて取り組ませる。
	目標：物体の浮き沈みの条件を調べよう。	
展開 30分	3 物体の浮き沈みについて班で協力してさまざまな野菜を用いて質量、体積、密度を求め、何が浮き沈みに関係しているのかを調べる。また、調べた結果をGoogleスライドにまとめる。 4 終わった生徒から物体の密度の違いを利用した工作に挑戦するか、マナビリアの自主学習に取り組む。	・実験の方法についてはストリームに載せておく。 ・各班の結果はスプレッドシートで集め、共有する。 ・実験開始から15分が経過したら、データをソートして生徒たちが気づきやすくする。
まとめ 5分	5 水との密度の大小で浮き沈みが決まることを理解する。 6 スプレッドシートに振り返りを書く。	・浮き沈みの条件が密度で決まること、またその密度は水との大小であることを全体で確認する。 ・本時の内容の振り返りと疑問点を記入するように伝える。

5 本時の評価

- ・物質の体積と質量の関係に着目し、密度の違いからいろいろな物質を区別することができたか。
- ・密度が物質を区別する手掛かりになることに関心を持ち、いろいろな物質について調べようとしたか。

第2学年1組 英語科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日(金)

場所 2年1組教室

1 単元(教材)名 「 What is important in a homestay? 」

2 本単元(教材)の学習目標
日本の習慣やマナーを伝えよう。

3 本単元(教材)の学習計画(8時間完了)

第1時 扉 / Preview / Part1 (have to + 動詞の原形)

第2時 Part2 (助動詞must)

第3、4時 Read and Think 1 (動名詞) (2時間) (1/2) 本時

第5、6時 Read and Think 2 (動名詞) (2時間)

第7、8時 Unit Activity (2時間)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 13分	1 Picture Descriptionに取り組む。 2 教科書P50、51を振り返る。 ①音読練習をする。 ②ドキュメントに音声入力をする。 3 本時の活動内容とめあてを確認する。	・イラストを電子黒板に提示する。 ・全体で練習をする。 ・音声入力が難しそうな生徒に発音の確認を支援する。
	目標：動名詞の働きを理解し、本文の内容を読み取ろう。	
展開 27分	4 動名詞の働きを確認する。 5 デジタル教科書を使って、教科書P52の本文の内容理解に取り組む。 (個人8分、グループ8分)	・動名詞の用法をおさえる。 ・机間指導をしながら、必要であれば声かけをする。
まとめ 5分	6 全体で振り返りをする。	・電子黒板にイラストを何枚か提示し、動名詞を使った文を練習させる。

5 本時の評価

- ・発音やイントネーションに気をつけて音声入力をする事ができたか。
- ・本文中に、動名詞を見つける事ができたか。

第2学年2組 数学科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日(金)
場所 2年2組教室

1 単元(教材)名 「角と平行線」(4章 図形の調べ方)

2 本単元(教材)の学習目標

- ・対頂角の意味を理解し、その性質を用いて角の大きさを求めることができる。
- ・平行線の角の性質を帰納的に確かめて演繹的に導いたり、それを用いて角の大きさを求めたり、直線の位置関係を表したりしようとしている。

3 本単元(教材)の学習計画(3時間完了)

- 第1時 角と平行線(本時)
第2時 角と平行線
第3時 角と平行線

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 10分	<p>1 伸縮式の門扉が開閉するようすを図形的に見て、気づいたことをノートに記入する。</p> <p>2 本日の活動内容とめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導して、生徒の意見をとらえる。 ・気づいたことを全体で確認しながら、今回は、角について意識させる。
目標：直線が交わってできる角について考えよう。		
展開 30分	<p>3 2つの直線が交わってできる角について、どんな関係があるかを考える。</p> <p>4 3で考えた関係はいつでも成り立つかを考える。</p> <p>5 平行な2直線と、それらに交わる直線によってできる角について、どんな関係があるかを考える。</p> <p>6 5で考えた関係はいつでも成り立つかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スプレッドシートに自分の状況を入力させ、意見交流をさせる。なお、席は自由に動いてよいこととする。 ・隣同士で図を確認させ、いつでも成り立つことを理解させる。 ・スプレッドシートに自分の状況を入力させ、意見交流をさせる。なお、席は自由に動いてよいこととする。 ・隣同士で図を確認させ、いつでも成り立つことを理解させる。
まとめ 5分	<p>7 本日、学んだことをスプレッドシートに入力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人が書いたことを参考にしてもよいことを伝える。

5 本時の評価

- ・直線が交わってできる角の性質を理解することができたか。

第2学年3組 社会科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日(金)

場所 2年3組教室

1 単元(教材)名 「中国・四国地方のまとめの活動」(3章 日本の諸地域)

2 本単元(教材)の学習目標

- ・観光大使としてアピールポイントを考え、中国・四国地方の特色に関心をもつ。
- ・中国・四国地方の特色を多面的にとらえ、Googleスライドにまとめて発表する活動を通して、中国・四国地方への理解を深める。

3 本単元(教材)の学習計画(5時間完了)

- 第1時 中国・四国地方をながめて (1時間)
 第2時 交通網の整備と人や物の移動の変化 (1時間)
 第3時 交通網が支える産業とその変化 (1時間)
 第4時 活用される交通・通信網 (1時間)
 第5時 中国・四国地方を振り返ろう (1時間) (本時)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 3分	1 観光大使の役割を級友と確認する。 2 本時の活動内容とめあてを確認する。	・授業者が観光大使のイメージをGoogleスライドで示し、イメージさせる。
	目標：中国・四国地方のまとめを通して、中国・四国地方への理解を深めよう。	
展開 37分	3(1) 班に分かれ、中国・四国地方の既習事項を、教科書を用いてCanvaにまとめる。さらに、Googleを用いて調べたこともまとめる。 (2) 観光大使として、アピールポイントを班で決める。 4 まとめたことを発表し、共有する。	・授業者がまとめた例を示し、どのようにまとめるかをイメージさせる。 ・他者参照を促し、どのような視点でまとめているかを連想させる。
まとめ 5分	5 本時の振り返りをスプレッドシートに <input type="text"/>	・級友の振り返りを確認するように伝える。

5 本時の評価

- ・中国・四国地方の特色を多面的に捉える、かつそれをGoogleスライドにまとめることができたか。

第3学年1組 国語科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日(金)
場所 3年1組教室

- 1 単元(教材)名 「故郷」(4章)
- 2 本単元(教材)の学習目標
登場人物の考え方や行動を批判的に読み、作品を批評することができる。
- 3 本単元(教材)の学習計画(5時間完了)
第1時 作品の設定を捉える(2時間)(本時2/2)
第2時 場面や登場人物の設定に着目して読み深める(2時間)
第3時 読み深めたことを基に作品を批評する(1時間)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 漢字の小テストに取り組む。 2 前時に入力した「初読の感想」を全体で共有する。 3 本時の活動内容とめあてを確認する。	・電子黒板にスプレッドシートを映す。 ・Classroomのストリームに学習目標と流れを掲載しておく。
目標：「私」と登場人物の関係を整理しよう。		
展開 30分	4 Canvaで人物相関図を作る。 ・考えをまとめる過程は ①自分で考える ②クラスの人と話し合う ③授業者の話を聞く を生徒が選択する。	・親しみのあるアニメの人物相関図を例とし、作り方をイメージさせる。 ・進捗状況を確認しながら、 ①参照してほしい相関図の紹介 ②手が止まっている生徒の支援 →ほかの生徒と話し合わせる →授業者が話をする のように支援する。
まとめ 10分	5 本時の振り返りをスプレッドシートに入力する。 6 次時の活動を確認する。	・振り返りとして「相関図を作る上でどんなところが難しかったか」を入力するように指示する。

5 本時の評価

- ・「私」と登場人物の関係性を人物相関図にまとめることができたか。

第3学年2組・第1学年3組 保健体育科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日（金）

場所 体育館

1 単元（教材）名 「現代的なリズムのダンス」

2 本単元（教材）の学習目標

- ・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりをつけて、全身で踊ることができる。
- ・課題に応じて運動への取り組み方を工夫することができる。
- ・仲間の動きをよく見て、互いに課題を伝え合ったり、教え合ったりしながら取り組むことができる。

3 本単元（教材）の学習計画（9時間完了）

第1時 オリエンテーション（1時間）

第2時 振り付けを身につける（5時間）（本時）

第3時 集団で隊形を工夫する（2時間）

第4時 発表会（1時間）

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 ウォーミングアップを行う。 2 本時の活動内容とめあてを確認する。	・音楽を使用して、リズムに乗りながら行うことができるようにする。 ・あらかじめGoogleスライドに授業の目標と流れを記入し、スクリーンに写しておく。
目標：ダンスの振り付けを身につけよう。		
展開 30分	3 自分の課題に応じた練習方法を選択して練習する。 (a) リーダーに教えてもらって練習 (b) 仲間と教え合いながら練習 (c) 自分で練習	・学習者用端末を用いてスクリーンに手本動画と音楽を流す。 ・前時の振り返り（スプレッドシート）の到達度を確認し、適宜声をかける。
まとめ 10分	4 全体で到達度を確認する。 5 本時の振り返りをスプレッドシートに記入する。	・記録用に動画を撮影する。 ・リーダーに全体に配置するよう声かけをする。 ・本時の振り返りを入力させる。

5 本時の評価

- ・課題に応じて運動への取り組み方を工夫することができたか。
- ・仲間の動きをよく見て、互いに課題を伝え合ったり、教え合ったりしながら取り組むことができたか。

第3学年3組 音楽科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日（金）
場所 第1音楽室

1 単元（教材）名 合唱「はじまり」

2 本単元（教材）の学習目標

- ・音楽記号を理解し歌詞の意味を考え、表現を工夫して歌うことができる。
- ・仲間と協力しながら、正しい音程で自分のパートを歌うことができる。

3 本単元（教材）の学習計画（10時間完了）

- 第1時 歌詞と音程を覚える（3時間）
第2時 各パートの響きを意識して歌う（2時間）
第3時 音楽記号を意識して歌う（2時間）（本時）
第4時 歌詞の意味を考えて歌う（2時間）
第5時 気持ちを込めて歌う（1時間）

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 前時の学習内容を確認する。 2 本時の活動内容とめあてを確認する。	・あらかじめGoogleスライドに授業の目標と流れを記入し、電子黒板に映しておく。
目標：音楽記号の意味を考え、意識して歌おう。		
展開 30分	3 曲の前半部分だけ歌唱し録画する。 ① どの部分の強弱を意識したら歌詞の内容が聞き手に伝わるか考える。 ② 気づいたことを自分の楽譜に記入する。 ③ 記入したことを同じパートメンバーと共有しクラス全体でも共有する。 4 パート練習を行う。	・学習者用端末を用いて電子黒板に録画した動画を流す。 ・考えるのが難しい生徒には適宜声をかける。 ・表現意図の問いかけをしたり、他のパートとの関係を意識したりして歌うように声をかける。
まとめ 10分	5 再度全体で、曲の前半部分だけを歌唱し録画をする。録画した動画を全体で聴く。 6 本時の振り返りをスプレッドシートに記入する。	・学習者用端末を用いて電子黒板に録画した動画を流す。 ・音楽記号と表現の工夫に注目して聴くように声をかける。 ・本時の振り返りを入力させる。 ・次の練習にどのようにつなげるかを意識して書くように声をかける。

5 本時の評価

- ・音楽記号を理解し歌詞の意味を考え、表現を工夫して歌うことができたか。
- ・仲間と協力しながら、正しい音程で自分のパートを歌うことができたか。

第5・6組 数学科学習指導案【略案】

日時 2025年9月12日（金）

場所 5組教室

- 1 単元（教材）名 「たし算・ひき算」
- 2 本単元（教材）の学習目標
文章問題を解いて、読解力と思考力を高める。

3 本単元（教材）の学習計画（3時間完了）

第1時 たし算・ひき算の計算

第2時 文章問題（本時）

第3時 たし算・ひき算のまとめ

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 3分	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時の学習内容の確認する。 2 本時の活動内容とめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどこまで学習したかを確認させる。
	目標：①自分で決めた量の学習を進めよう。 ②文章問題を進んで解こう。	
展開 40分	<ol style="list-style-type: none"> 3 各自の学習内容を確認して、プリントまたはeライブラリの問題を解く。 4 カフトを使って、文章問題を解く。 ・文章問題を解くときの自分の着眼点を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを使うかeライブラリを使うかを決めさせる。 ・一人一人の学習の様子を見て、必要に応じて個別指導を行う。 ・生徒全員がカフトにログインできたかを確認する。
まとめ 2分	<ol style="list-style-type: none"> 5 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の自分の学習内容を確認させる。

5 本時の評価

- ・各自が自分で決めた量の学習ができたか。
- ・文章問題を解くときの自分の着眼点を具体的に発表できたか。